

日本サニパック株式会社様

リモートワークでもオフィスと変わらない使用感で
セキュアかつシームレスな業務環境を実現

リモートワークの生産性向上



sanipak

<https://www.sanipak.co.jp>

創立年月 1970年
代表者 井上 充治
資本金 20,000,000円

事業内容 ゴミ袋・ポリ袋の
開発・製造・販売

- デジタルトランスフォーメーション推進部 部長 宇野 様(中)
- デジタルトランスフォーメーション推進部 情報システム課 課長 小手川 様(左)
- デジタルトランスフォーメーション推進部 情報システム課 五十嵐 様(右)

導入の目的  リモートワークでセキュアかつシームレスな業務環境を実現する

BEFORE

Shadow Desktop導入のきっかけ

宇野 様：弊社は本社の他に3拠点の営業所を構え、海外にはシンガポール支店、インドネシア工場を展開しています。新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに各拠点でリモートワークが強いられるようになり、在宅の業務環境の整備を進めたことが Shadow Desktop 導入のきっかけです。もともと在宅でも仕事ができるように意識し、全従業員に持ち出し可能なノート PC を貸与していました。しかし、そのなかには重量が4キロほどある大型の端末を使っている者もいて持ち運びが大変だったので、まずは全従業員にオフィス用と自宅用の2台の PC を準備しました。同時に自宅用のプリンターも貸与し、営業の提案用資料や受注センターで使うチェックリストなども印刷できるようにしました。

抱えていた問題

宇野 様：オフィス用と自宅用、それぞれの PC を準備したところ、それによって業務で使うデータの持ち出しが必要になり、セキュリティの観点で不安が出てきました。また、データの持ち出しが発生することで、最新ファイルがどれなのかがわかりづらくなった

り、間違えて古いファイルを更新してしまったり、データの管理も煩雑になっていたんです。リモートワークでもデータの持ち出しをせず、できるだけオフィスワークと同じ環境で仕事ができるようにしたいと考えていたとき、あるバンダーさんからの紹介で、PC データをクラウドで管理するデータレスクライアント製品として、Shadow Desktop の存在を知りました。

Shadow Desktopを選んだ理由

小手川 様：製品の導入に向けて、他社のソリューションも検討しました。例えば、自宅の PC から会社の PC を遠隔操作できるリモートデスクトップサービスを使うという選択肢もありますが、ネットワークエラーやファイアウォールが邪魔をして接続できないことがあるためストレスフルです。ウイルス対策として優れていることは重要ですが、それによって操作性が下がってしまうことが大きな懸念でした。また、VDI (仮想デスクトップ) も処理速度がネットワークやサーバーの環境に依存するため、やはり操作性の面で不安があり、費用も高額になります。このように、さまざまな製品を検討・評価した結果、「機能的優位性」「経済的優位性」の両面で「◎」がついたのが Shadow Desktop でした。

■ 導入方法

小手川 様：まずはDX推進部のメンバー数名で稼働していないPCにShadow Desktopを入れ、利用シーンを想定したトライアルを実施しました。この時点で、“使い勝手を意識しないほどの使い勝手の良さ”を実感し、同時に設定が簡単なことや、運用管理にも手間がかからないことが確認でき、全従業員約80名のPCに段階的に導入していきました。



(左)
DX推進部 情報システム課
小手川 様

■ Shadow Desktop導入による効果

宇野 様：Shadow Desktopを導入したことで、自宅のPCからクラウドストレージ上にある業務データを編集・保存できるようになり、データの持ち運びが不要になったため、セキュリティリスクを低減できました。自宅のPCにはデータが残らず、キャッシュはPCをシャットダウンすると自動的に削除されるため、例えば自宅用PCを営業先に持ち出して紛失してしまった場合でも情報漏洩のリスクを最小限に抑えられます。



(左)
DX推進部 情報システム課
五十嵐 様

■ Shadow Desktopの使用感

五十嵐 様：Shadow Desktopは、在宅環境でPCを立ち上げても、オフィスのPCと同じレイアウトでフォルダやファイルが表示されるので、操作性の面でとても優れていると思います。ファイルを選択すると、一度デスクトップにダウンロードされますが、動作もスムーズでストレスは一切ありません。在宅でもオフィスでも環境の違いを意識せずに作業ができるのが“当たり前”になったことが、Shadow Desktop導入の大きな効果だと感じています。最近では、在宅勤務を強制することはなくなり、オフィスワークに戻りつつありますが、育児や介護をしながら働く従業員など、それぞれのワークライフバランスの実現に向けて、これからもShadow Desktopを使いながらより良い業務環境を実現していきたいです。



- > デジタルトランスフォーメーション推進部 部長 宇野 様(中)
- > デジタルトランスフォーメーション推進部 情報システム課 課長 小手川 様(左)
- > デジタルトランスフォーメーション推進部 情報システム課 五十嵐 様(右)

Shadow Desktop®

導入前後の構成図

